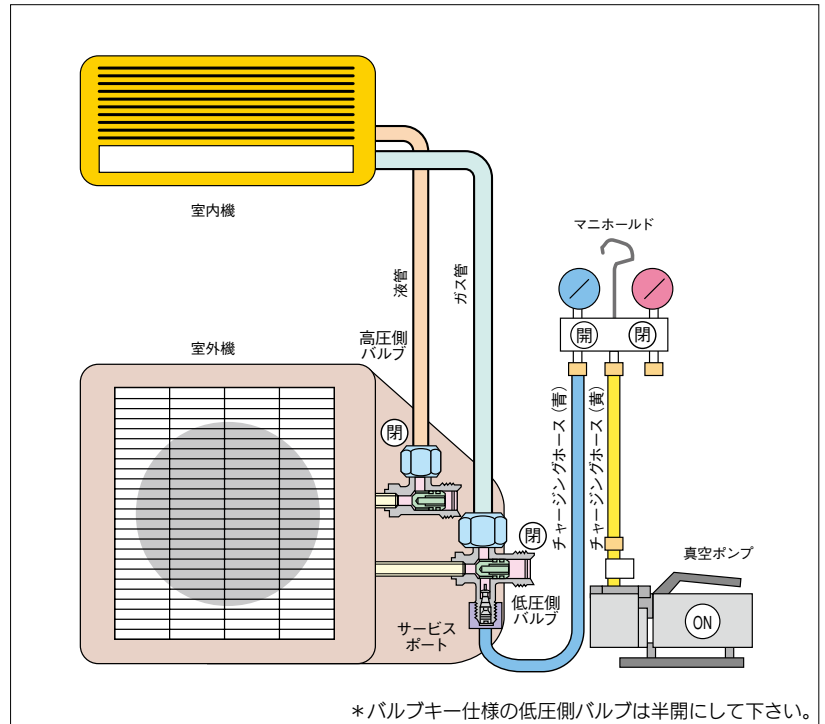


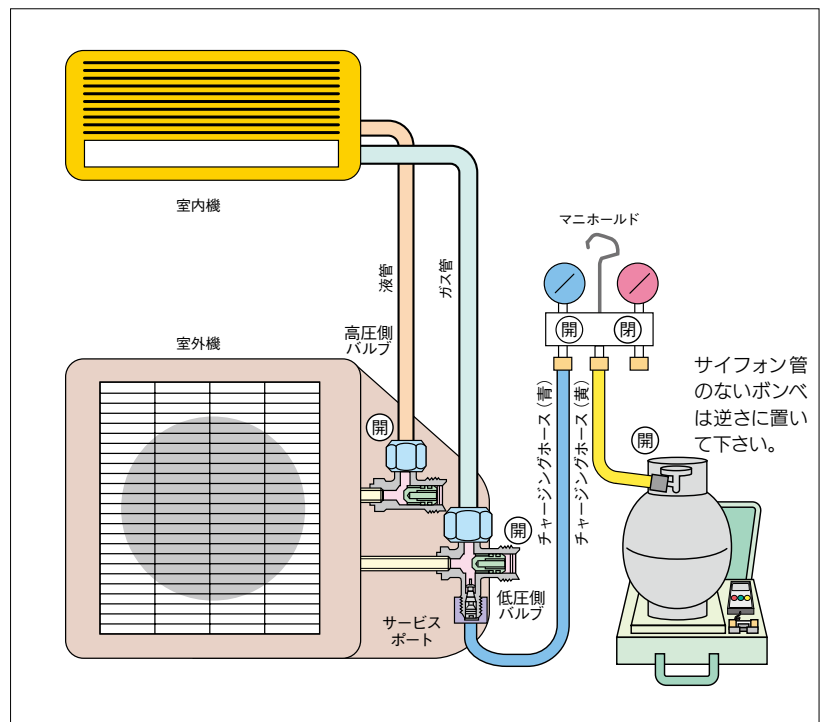
真空引きの方法

1. マニホールドとチャージングホース、真空ポンプを図のように室外機の低圧側サービスポートと接続します。
2. 真空ポンプの電源を入れ、真空引きを開始。マニホールドのゲージ圧が -0.1MPa になるのを確認し、15分以上真空ポンプを運転します。
3. マニホールドの低圧側(LO)バルブを閉め、真空ポンプの電源を切り気密テストを行います。
4. 5分以上放置し、低圧側(LO)ゲージが動かない事を確認します。(もし動くようなことがあれば漏れの可能性があります。)
5. チャージングホースを室外機の低圧側サービスポートから取り外します。
6. 室外機の低圧・高圧側バルブを開けて冷媒を配管内に通して終了です。



ガスチャージの方法

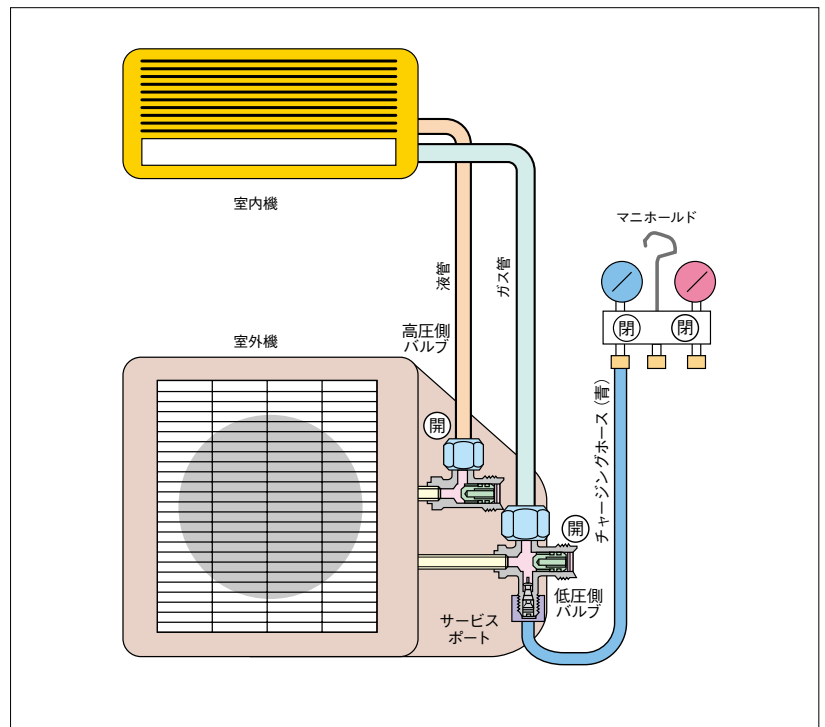
1. マニホールドとチャージングホースを図のように低圧側サービスポートに接続します。マニホールドのバルブは閉じておいて下さい。
2. ポンペとスケール(はかり)を用意し、図のように接続し、チャージングホース内をパージ(真空引き)します。
3. スケールの目盛りを「0」にしてポンペ、マニホールドのバルブを図のように開け、ガスチャージを開始します。
4. スケールの目盛りとマニホールドのゲージ圧を見ながら規定量を充填します。
*寒い時や、最後まで入らない時は冷房運転をしてエアコン本体に冷媒を吸引させます。
5. 規定量が入ったら、マニホールド、ポンペの順にバルブを閉め、チャージングホースを低圧側バルブから外します。



ポンプダウンの方法

エアコンを移設する際やエアコンを移動する際、冷媒を一時室外機に収める方法です。

1. 作業を始める前に10分程エアコンを運転させます。
2. チャージングホースとマニホールドを低圧側サービスポートに接続し、チャージングホース内をパージします。
3. エアコンの高圧側バルブを閉じて、エアコンを冷房運転させます。
4. マニホールドの低圧ゲージが0MPaを指す寸前にエアコンの低圧側バルブを閉じます。
5. エアコンをすぐに停止し、チャージングホースとマニホールドを取り外します。



圧力測定の方法

1. システム内の運転圧力を測定する場合、チャージングホースとマニホールドを図のように取り付けます。
(マニホールドのバルブは両方とも閉じておいて下さい。)
2. マニホールドの低圧側ゲージの指している圧力を測定します。
(運転圧力に関して、各エアコンメーカー、機種によって異なりますので、各エアコンメーカーにお問い合わせ下さい。)

